

第 4 回 白井市在宅医療・介護連携研修会 「認知症高齢者と薬剤」～有害反応について～

平成 30 年 3 月 7 日 in 白井市保健福祉センター 団体活動室

市内の医療・介護職がメンバーとなっている多職種連携研修企画ワーキングが提案した「認知症」をテーマに平成 30 年 3 月 7 日（水）に研修会が開催されました。

講師にセコメディック病院で認知症看護認定看護師として活躍されている伊藤美雪氏を招き、高齢者の薬物動態やせん妄、認知症高齢者の病態についてなど、寸劇を交えて分かりやすく教えていただきました。

また、研修会冒頭では平成 30 年 4 月より活動を開始する「認知症初期集中支援チーム」について市から説明を行いました。

お忙しい中、医師・看護師・薬剤師・リハビリ専門職・ケアマネジャー・介護職員等、46 名の医療職、介護職の方々に参加いただきました。ありがとうございました。

《 第 1 部 寸劇 & グループワーク 》

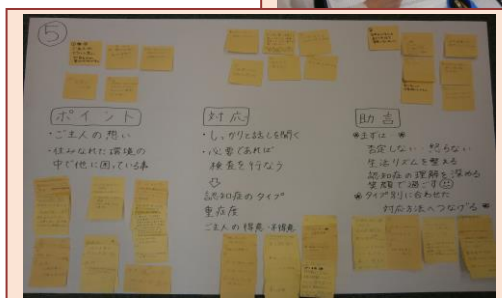
「3 日前から急に夜中に何度も目を覚ますようになり、寝ぼけた様子で家族を起こしてしまう」高齢男性。その状況を心配した家族が本人と共に外来診察に訪れた際の医師とのやり取りを、セコメディック病院の有志の方々が演じてくださいました。



寸劇を見て、家族への対応・助言についてグループワークを行いました。



この行動が起きている原因はなんだろう？



《 ご紹介 》

～認知症初期集中支援チームの活動～

認知症初期集中支援チームとは？

認知症サポート医、医療・介護の専門職（チーム員）で構成し認知症の早期診断・早期対応のために、医師の指導の下、認知症の疑われる人又は認知症の人やそのご家族を訪問し、自立した生活をサポートするチームです。

チーム員が自宅を訪問し、ご本人やご家族の支援を行います。

支援対象となる方のご相談や情報提供は、担当地区の地域包括支援センターまでご連絡ください。

研修会に出席された
認知症サポート医の
徳田医師よりご挨拶を
いただきました。



《 第2部 レクチャー 》

認知症高齢者と薬剤について ～有害反応について～

講師:セコメディック病院 認知症看護認定看護師 伊藤美雪氏



寸劇事例の解説(講師が対応した事例)

- ・3日前からという言葉が気になった。
→せん妄?
- ・せん妄だったら、身体的には大丈夫かな? →身体的には大丈夫
- ・家族からの情報で、4日前から泌尿器科の薬が追加された様子。
→お薬手帳を確認したところ、抗コリン薬が開始となっている。

対応) 薬剤によるせん妄の可能性を医師に伝え、医師よりご家族に伝えてもらった。

- 身体拘束について
- 病院におけるせん妄ケア、せん妄識別チャート
- 高齢者の薬物動態
高齢者は薬の吸収が悪くなり薬の効果が現れにくい。また、肝臓や腎臓の機能の低下に伴い、解毒作用や排泄機能も低下するため、薬の成分がいつまでも体内に残りやすい。
- せん妄のタイプ(過活動型、低活動型、混合型)
- せん妄の原因(準備因子、身体因子、誘発因子)
- 薬物療法をめぐる誤解
「不穏は寝かせればいい」?
鎮静してもせん妄は改善しない。脳機能障害に対する治療が必要。
「抗精神病薬は眠らせるために使っている」?
脳機能障害を改善するために使用。鎮静目的で使っているのではない。
- 認知症高齢者の病態、中核症状・心理症状について

参加者アンケート集計結果報告

【職種】(回収数 37)

ケアマネジャー	12名
リハビリ職	7名
介護職	6名
医師	2名
看護師	7名
その他	3名

希望する研修テーマ

- ・認知症のタイプ別の接し方、対応について
- ・認知症への運動療法の効果について
- ・認知症の方への行政サービス、地域資源 等

感想を一部ご紹介します

- 高齢者イコール認知症だと思い込んでいた。薬によるせん妄について、今後参考にしたい。
- 勉強になりました。もっとたくさんの知識を学べば利用者さんに良いアプローチができると感じた。
- 理想は”拘束しない看護”でそれは理解していてそうしたいと願い看護をしたいと考えるが、現場は慢性的な人手不足で実際に”100%拘束しない看護”は難しいこともありその葛藤が常にある。このような研修で改めて認知症に関する知識を深めることで”拘束しない看護”について考える機会になればと思います。
- 認知症とせん妄の違いについて分かり易く講義していただきました。クリニックでは「点」での関わりも多く、症状の把握について役立てていきたいと思います。
- 抗精神病薬と誤嚥性肺炎の関係やせん妄と薬の関係をわかりやすく説明していただき、よくわかりました。自身でも調べてみたいと思います。
- 同職種でグループを行うことで自分の職種の自身に足りない知識を明確化できたように思います。

今年度の研修日程は終了しました。次年度も引き続き開催しますので、ご参加お待ちしております。